

産業技術総合研究所 平成 27 年度 研究評価委員会（計量標準総合センター）
議事要旨

1. 日時：平成 28 年 3 月 24 日（木）10:30～17:30
2. 場所：産業技術総合研究所 つくばセンター 中央第 3 事業所 3-9 棟 3 階会議室
3. 議事
 - （1）開会挨拶
 - （2）委員紹介・資料説明
 - （3）領域による説明（質疑含む）（議事進行：初澤 毅 評価委員長）
 - （4）総合討論・評価委員討議・講評（議事進行：初澤 毅 評価委員長）
 - （5）閉会挨拶

4. 議事概要

（1）計量標準総合センターの概要説明と質疑応答

計量標準総合センター全体の概要・戦略について、資料 6 に基づき説明が行われた。人的資源の振り分け方・年齢構成等について、評価委員による質疑応答が行われた。また、研究開発の概要については、研究テーマ設定、技術戦略マップ、標準物質供給の課題などについて説明が行われ、それぞれについて評価委員による質疑応答が行われた。

「橋渡し」につながる基礎研究（目的基礎研究）については、基礎研究成果の展開方法、相互承認協定等について質疑応答が行われた。「橋渡し」研究前期における研究開発については、開発した各種計測装置の商品化、計測課題を解決するためのプラットフォームに関して質疑応答が行われた。「橋渡し」研究後期における研究開発については、研究評価委員会における評価指標、NEDO プロジェクトの実施状況、中小企業との共同研究などについて質疑応答が行われた。

また、知的基盤の整備について、光格子時計による次世代標準、物理標準・化学標準の選定基準、光格子時計の今後の展開等について説明が行われ、それぞれについて評価委員による質疑応答が行われた。

さらに、「橋渡し」のための関連業務について、説明が行われ、マーケティング方法、技術戦略マップの活用方法、技術コンサルティングについて質疑応答が行われた。

（2）総合討論

民間資金獲得の欧米との比較、海外機関との人事交流など研究マネジメントを含めた計量標準総合センターの研究活動全般について総合討論が行われた。

（3）評価委員討議

今回の評価に関して、評価委員による討議が行われた。

(4) 講評

評価委員長はじめ評価委員より計量標準総合センターに対する講評が行われた。

5. 評価委員（敬称略、順不同）

初澤 毅	東京工業大学 精密工学研究所 教授（評価委員長）
金澤 秀子	慶應義塾大学 薬学部 創薬物理化学講座 教授
虎尾 彰	JFE テクノリサーチ株式会社 計測技術本部 光波センシング部 理事／ 部長
野田 華子	アンリツ株式会社 技術本部先進技術開発センター 副センター長
橋本 秀樹	株式会社 東レリサーチセンター 取締役 営業部門長
堀井 茂	一般社団法人 日本計量機器工業連合会 専務理事

6. 配布資料

資料 1：議事次第

資料 2：出席予定者

資料 3：座席表

資料 4：評価資料（その 1）主要な経年データ

資料 5：評価資料（その 2）主な業務実績等

資料 6：評価資料（その 3）説明資料

別添資料 1：平成 27 年度計画（抜粋）

別添資料 2：評価項目及び評価方法

別添資料 3：産総研評価情報システム利用ガイド（評価委員のみ）

別添資料 4：評価コメント記入用紙（評価委員のみ）